

交付運用報告書

日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)

円ヘッジありコース

<愛称> ジェイブリッド

追加型投信/海外/その他資産 (ハイブリッド証券)

作成対象期間: 2025年6月17日~2025年12月15日

第143期 決算日: 2025年7月14日 第144期 決算日: 2025年8月14日

第145期 決算日: 2025年9月16日 第146期 決算日: 2025年10月14日

第147期 決算日: 2025年11月14日 第148期 決算日: 2025年12月15日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建てのハイブリッド証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。なお、外貨建資産については、原則として日本円へ為替のフルヘッジを行い、為替変動リスクを低減する運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書(全体版)の閲覧方法

<https://www.sompo-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先: リテール営業部

(受付時間 営業日の午前9時~午後5時)



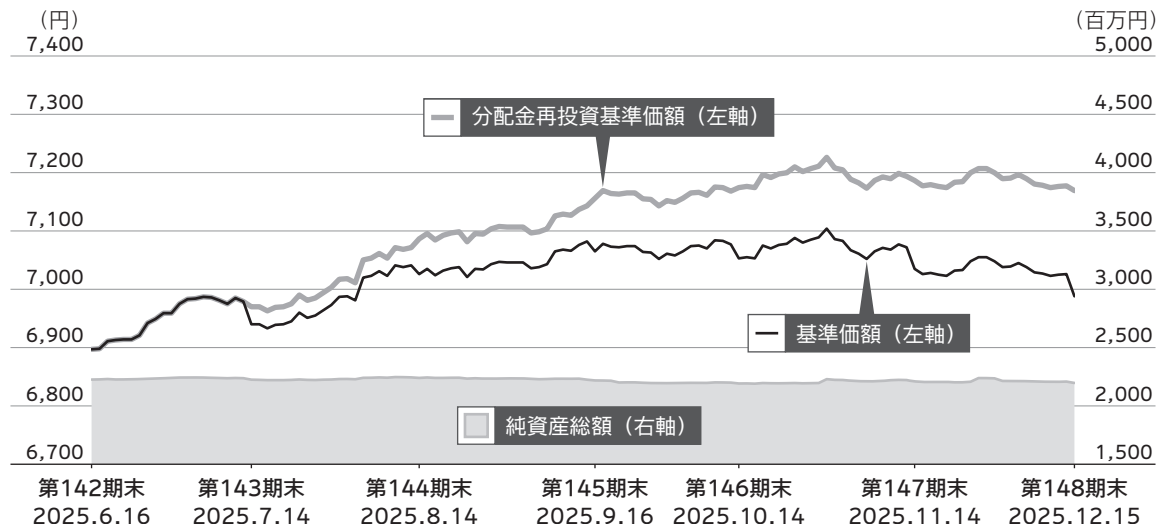
0120-69-5432

第148期末 2025.12.15	
基準価額	6,988円
純資産総額	2,196百万円
第143期~第148期 2025.6.17~2025.12.15	
騰落率*	3.9%
期中分配金合計	180円

* 騰落率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

第143期首

基準価額
6,897円

騰落率

3.9%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

第148期末

基準価額
6,988円
(期中分配金)
(合計180円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2025年6月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジありコース

マザーファンドが保有する日本金融ハイブリッド証券の所有期間利回りがプラスとなったことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は上昇しました。なお、当ファンドは為替ヘッジを行っているため為替変動による影響は限定的でした。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は+14.6%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券において、基準となる米国国債利回りが低下（価格は上昇）したことや、対国債スプレッドが縮小したことから、所有期間利回りはプラスとなりました。為替が米ドル高円安となったことも寄与し、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

項目	第143期～第148期 2025.6.17～2025.12.15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	32円	0.461%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,032円です。
(投信会社)	(15)	(0.219)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(15)	(0.219)	購入後の情報提供、運用報告書各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.012	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.007)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(0)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	33	0.473	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

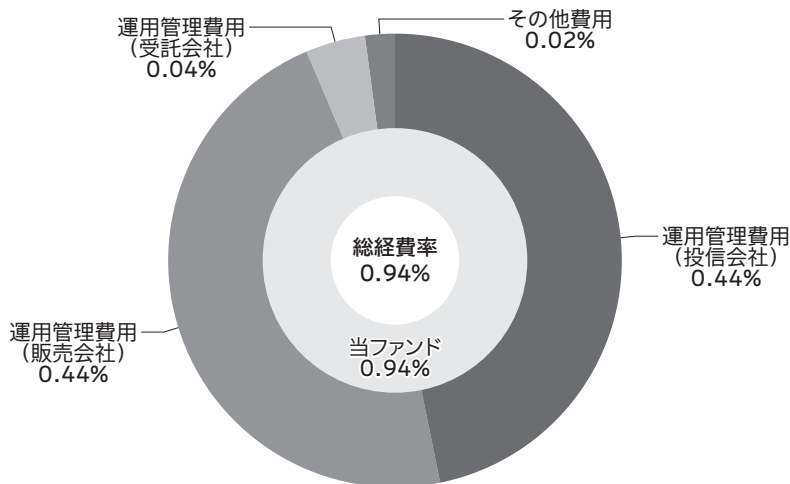
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.94%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

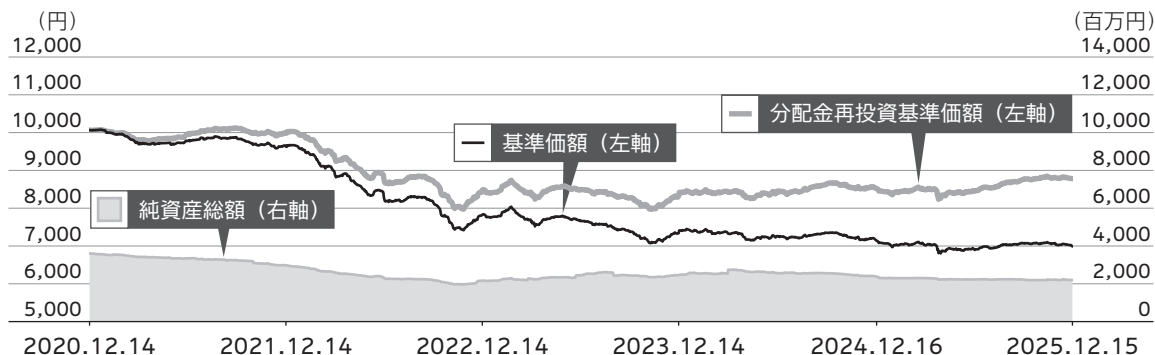
注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2020.12.14~2025.12.15



- 分配金再投資基準価額の推移は、2020年12月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2020.12.14 決算日	2021.12.14 決算日	2022.12.14 決算日	2023.12.14 決算日	2024.12.16 決算日	2025.12.15 決算日
基準価額 (円)	10,070	9,629	7,830	7,338	7,138	6,988
期中分配金合計（税引前）(円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.8	△ 15.1	△ 1.7	2.2	3.1
純資産総額 (百万円)	3,611	2,970	2,167	2,454	2,376	2,196

● 投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは低下しました。

期初から2025年9月半ばにかけては、FRB（米連邦準備理事会）による利下げ姿勢が継続する中、利回りは低下基調で推移しました。その後利回りは、概ね横ばいで推移した結果、期を通じてみると利回りは低下しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

英国債券利回りの上昇の影響やECB（欧州中央銀行）の利下げ観測の後退などを受けて、2025年9月にかけて利回りは上昇基調で推移しました。その後も、ECBによる利下げ停止観測や、欧州の景況感の改善、英国債券利回りの上昇の影響を受け、利回りは上昇しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは小幅に低下しました。

財政悪化懸念の高まりなどを受けて2025年9月にかけて英国債券利回りは上昇しました。その後、労働市場の軟化懸念を背景に利下げ観測が高まったことから10月に利回りが低下した後は、概ね横ばいで推移しました。期を通じてみると利回りは小幅に低下しました。

○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券市場では、米国による貿易交渉の進展や、株式市場が堅調に推移したことなどを受けて、市場のリスク回避姿勢が後退したことから、対国債スプレッドは縮小しました。

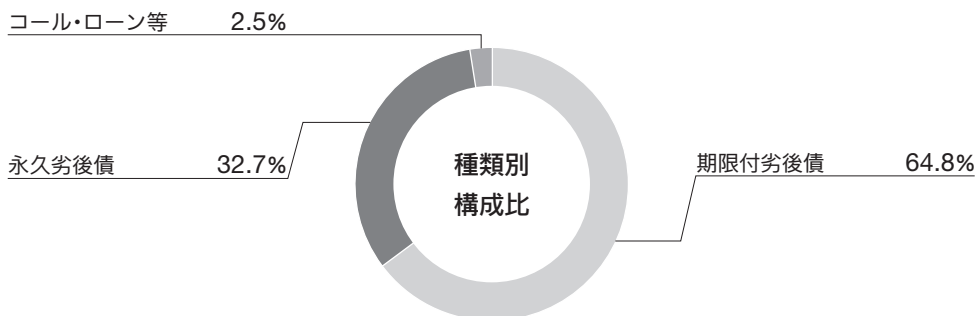
● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通して日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。また、為替変動リスクを回避する目的から、為替のフルヘッジを行っています。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

決算日時点のポートフォリオは11銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



注1. 比率は、第148期末における純資産に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とまらない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期
	2025.6.17 } 2025.7.14	2025.7.15 } 2025.8.14	2025.8.15 } 2025.9.16	2025.9.17 } 2025.10.14	2025.10.15 } 2025.11.14	2025.11.15 } 2025.12.15
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.430%	0.425%	0.423%	0.424%	0.425%	0.427%
当期の収益	20	23	22	15	18	18
当期の収益以外	10	6	7	15	11	11
翌期繰越分配対象額	365	358	351	339	328	316

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期毎にインカム収入[※]を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、ハイブリッド証券の利子または配当収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針



日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジありコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの上を目指します。また、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジについても継続します。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

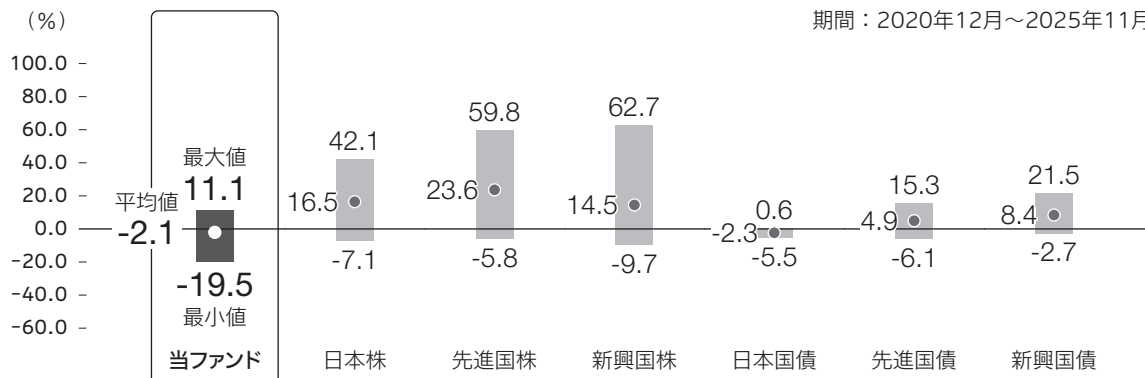
現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、市場環境によっては組入れ銘柄の入れ替えも検討します。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	2013年8月29日から2028年6月14日
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	<p> 日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジありコース 日本金融ハイブリッド証券マザーファンド受益証券</p> <p> 日本金融ハイブリッド証券マザーファンド 日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券</p>
運用方法	<p>① 日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等をいいます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。</p> <p>② 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジにより、為替変動リスクを低減する運用を行います。</p> <p>③ 原則、毎月14日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に収益の分配を行います。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

期間：2020年12月～2025年11月



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は15ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

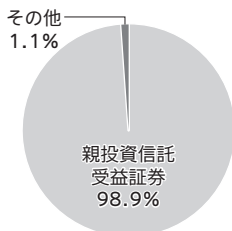
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第148期末 2025.12.15
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	98.9%

注. 比率は第148期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第148期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第143期末 2025.7.14	第144期末 2025.8.14	第145期末 2025.9.16	第146期末 2025.10.14	第147期末 2025.11.14	第148期末 2025.12.15
純資産総額	2,225,010,766円	2,240,030,055円	2,218,348,265円	2,192,301,890円	2,208,352,686円	2,196,730,499円
受益権総口数	3,206,191,967口	3,187,975,604口	3,139,855,673口	3,108,283,663口	3,138,894,804口	3,143,722,042口
1万口当たり 基準価額	6,940円	7,026円	7,065円	7,053円	7,035円	6,988円

※ 当作成期間（第143期～第148期）中における追加設定元本額は115,920,979円、同解約元本額は199,419,440円です。

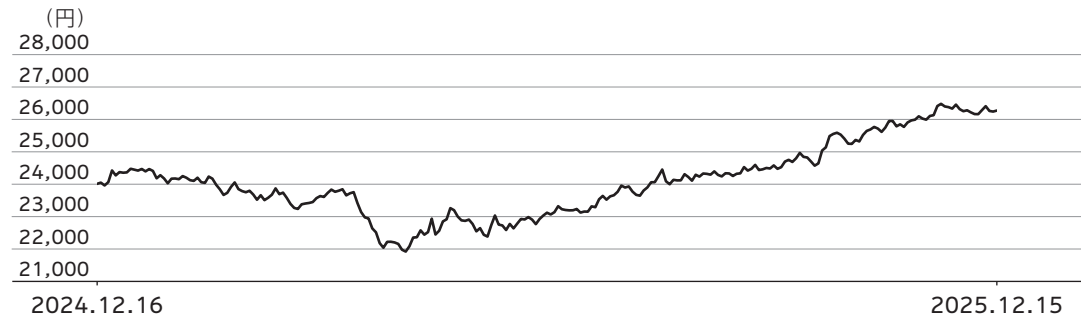
当該投資信託の組入資産の内容／純資産等

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

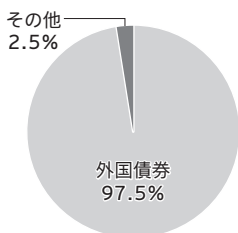
項目	2024.12.17~2025.12.15	
	金額	比率
その他費用	3円	0.014%
(保管費用)	(3)	(0.014)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	3	0.014

期中の平均基準価額は24,166円です。

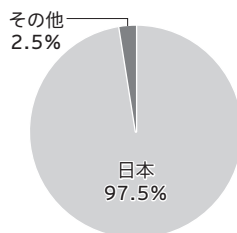
組入上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	DAI-ICHI FRN 350116	社債券	アメリカ・ドル	日本	14.3%
2	NIPPON LIFE FRN 310916	社債券	アメリカ・ドル	日本	14.2%
3	MIZUHO FG 2.564 310913	社債券	アメリカ・ドル	日本	13.5%
4	SUMITOMO MI 2.142 300923	社債券	アメリカ・ドル	日本	11.6%
5	MSINS 4.95 290306	社債券	アメリカ・ドル	日本	11.4%
6	SUMITOMO LI 3.375 310415	社債券	アメリカ・ドル	日本	10.8%
7	SUMITOMO LIFE FRN 340118	社債券	アメリカ・ドル	日本	7.0%
8	SUMITOMO MI 6.184 430713	社債券	アメリカ・ドル	日本	5.3%
9	NIPPON LIFE 2.75 310121	社債券	アメリカ・ドル	日本	3.7%
10	NIPPON LIFE FRN 330913	社債券	アメリカ・ドル	日本	2.9%
組入銘柄数			11銘柄		

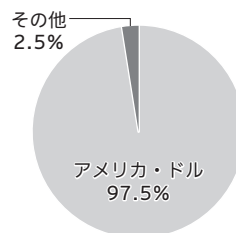
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2025年12月15日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。